

氏名	浮 田 泰 孝		
授与した学位	博	士	
専攻分野の名称	医	学	
学位授与番号	博 乙 第 2771 号		
学位授与の日付	平成 6 年 6 月 30 日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 4 条第 2 項該当)		
学位論文題目	頸髄症のシネMRI		
論文審査委員	教授 平木 祥夫	教授 折田 薫三	教授 大本 堯史

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

シネMRIを用いた新しい動的画像診断法により頸髄症46例の術前術後を評価し、脳脊髄液流無信号領域（以下CSF flow void）を5つのタイプに分類した。

頸髄症の術前46例全例に、正常のCSF flow voidが認められなかったが、脊髄除圧後全例にCSF flow voidが認められ、全例心電図上のR波から150～300msecの心収縮期であった。

術後のCSF flow voidのタイプは、手術方法、疾患および術後の頸椎アライメントとの関連が認められた。また、術後のCSF flow voidのタイプと術後成績との関係では、posterior typeが最も良く、anteroposterior typeが最も悪く、それらの間に有意差を認めた。

本法は脊髄への圧迫の程度をよりの確にかつ動的に表現した新しい方法であり、また非侵襲的な検査であるので術後の除圧効果の評価法として有用である。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は頸髄症に対するシネMRIを用いた新しい動的画像診断法に関する臨床的研究であるが、従来十分確立されていなかった本法の術前の脊髄への圧迫の程度、術後の除圧効果の評価法としての有用性について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。